

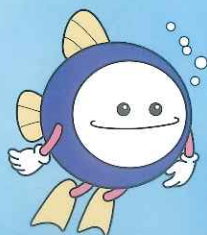
世界に誇る技術の祭典



# 下水道展'12 神戸

## ガイドブック

2012年7月24日(火)-27日(金)  
神戸国際展示場 1・2・3号館



下水道マスコットキャラクター  
スイスイ

主催 公益社団法人 日本下水道協会

# エコスピードシールド (ESS) 工法協会

# 1-57

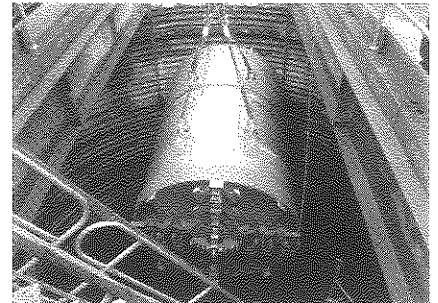
エコスピードシールド (ESS) 工法は、多様化する現場ニーズに対して、3タイプから最適な施工方法が選択できる。

【所在地】 〒581-0038 大阪府八尾市若林町1-76-3 朝日生命ビル1階  
【担当部課名】 工法協会事務局  
【出展品目】 推進工法とシールド工法のコラボレーション技術（特殊推進工法）

【TEL】 072-920-2533  
【FAX】 072-920-1588  
【URL】 <http://www.eco-speed-shield.com>  
【E-mail】 [info@eco-speed-shield.com](mailto:info@eco-speed-shield.com)

- ①推進・シールド併用タイプ(特殊推進工法)は、推進工法とシールド工法の両方の利点と欠点を補い合うことで、今まで成し得なかった施工を可能にした工法です。仕上り内径1,000~2,400mmを対象とし、経済性・安全性・高品質・環境(エコ)を追求した新しい技術です。
- ②シールドタイプ(小口径シールド工法)は、発進直後に急曲線がある場合や特殊条件により推進工法での施工が困難な場合に最適

- な泥濃式シールドです。
  - ③推進タイプは、難易度が高いとされる巨礫・岩盤層に対応する巨礫破砕型、既設人孔および既設シールド等に直接到達が可能な既設構造物到達型の施工が可能です。また、推進力低減(ES)システムの併用により、長距離施工が可能です。
- 本展示会では、推進・シールド併用タイプの施工事例(京都市)を発表します。



# SDライナー工法協会

# 1-11

SDライナー工法(取付管更生・本管更生~一体化更生~)

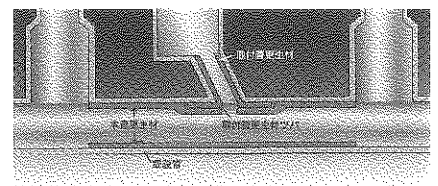
【所在地】 〒370-0015 群馬県高崎市島野町890-8  
【担当部課名】 事務局  
【出展品目】 下水道管渠更生工法(SDライナー工法)

【TEL】 027-352-7867  
【FAX】 027-353-5320  
【URL】 <http://www12.wind.ne.jp/sd-liner>  
【E-mail】 [sd-liner@dan.wind.ne.jp](mailto:sd-liner@dan.wind.ne.jp)

- ◆工法の概要  
熱硬化性更生材料を、取付管更生は空気圧で、本管更生は水圧で反転し、温水の循環にて硬化させ、取付管と本管を一体化更生する工法です。
- ◆工法の適用範囲  
管種：鉄筋コンクリート管・陶管・硬質塩化ビニル管  
管径：取付管 φ125~200mm  
本管 φ200~600mm
- ◆工法の特長  
・取付管は、本管と取付管の桝までの全体を更生し、曲管・破損・浸入水がある既設管渠でも施工可能

- である。
- ・本管は、マンホール間の全体を更生し、クラック・破損・浸入水がある既設管渠でも施工可能である。
- ・取付管と本管を一体化更生することにより、接合部は0.1MPaの外水圧・内水圧(JSWAS A-1による水密性試験)に耐える止水性を有する。
- ・取付管と本管の更生管単体は、更生材料を選択することにより、下水道用硬質塩化ビニル管と同等以上の偏平強度(JSWAS K-1)を有する自立管を形成できる。
- ・更生管は、耐薬品性(JSWAS K-2)・耐摩耗性(JIS

- A1452)があり耐久性を有する。
- ・耐震性を有する更生管が可能。



▲ 下水道管渠の取付管を含む全体更生

# FFT工法協会

# 1-59

FFT-S工法(管渠のリニューアル)

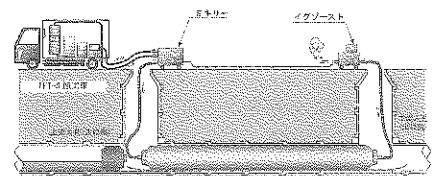
【所在地】 〒108-6031 東京都港区港南2-15-1(品川インターシティA棟31階)タキロンエンジニアリング㈱内  
【担当部課名】 事務局  
【出展品目】 管渠更生工法(本管、取付管)

【TEL】 06-6453-7170  
【FAX】 06-6453-5310  
【URL】 <http://www.fft-s.gr.jp>  
【E-mail】 [fftinfo@fft-s.gr.jp](mailto:fftinfo@fft-s.gr.jp)

- ◆概要  
FFT-S工法は損傷した既設管渠内部に強靱で平滑なFRPパイプを構築する非開削更生工法(形成工法)です。更生材料(樹脂含浸ライナー)は、耐酸性のガラス繊維等でできたサンドイッチ構造の材料に、熱硬化の樹脂を含浸させたものです。施工は、更生材料の保護と牽引力の低減を目的としたスリップシートを既設管渠内に引込み、その後、更生材料を引込み、蒸気で加熱硬化させます。

- ◆特長
- ①材料は自立管(Gタイプ)と二層構造対応(Lタイプ)の2種類。
- ②施工車が進入できない場所でも、蒸気ホース等の延長により、非近接施工が可能。
- ③施工に要する設備が少なく、わずかな道路占有作業帯で施工可能。
- ④材料はガスバリアー性のフィルムに覆われており、臭気が少なく、環境と安全に配慮。
- ⑤本管と一体型の取付管施工可能。

- ⑥既設管への追従性がある。(Gタイプ)



▲ FFT-S工法 施工概要図